

令和2年度 学校評価計画表

教育目標	本校教育実践の蓄積を生かしつつ、新しい時代に生徒が未来社会を切り拓ひらくための資質・能力を一層確実に育成することを目指す。また、知識理解の質を更に高め、確かな学力を育成するとともに、豊かな心や健やかな体を育成する。	総合評価
運営方針	・新しい時代を逞しく生きる力を意識し、身につけるために探究的活動に力を注ぐ。・高大接続に関して要求される資質・能力および確かな学力を育成する。 ・社会の形成者として有為な人材となることを目指す。	
本年度重点目標		
探究活動に積極的に取り組ませる。	・自ら課題を見つけ、探究する態度を養成する。 ・協働した内容や自分の考えを他者に伝える力を身につける。	
本当に必要な力を身につける授業改善を進める。	・基本的学力を徹底的に身につけさせる。 ・生徒の脳がより活性化し、積極的に学びに向うことを目指す。	
進路指導の充実を図る。	・新しく正確な情報を提供する。 ・将来への希望を育み、その実現に向かうエネルギーを培う。	
豊かな人間性と人格の涵養に努める。	・自分を大切にし、他者を思いやることの大切さを日常の中で気づかせる。 ・地域とのつながりを意識し、奉仕者精神を学ばせる。	
学校行事や部活動から学ぶ。	・目標に向かい努力することの意味と喜びを知る。 ・より健康な心身を育むよう取り組む。	

評価項目	具体的目標 (評価小目標)	具体的方策	評価指標	中間期(9月)		年度末(3月)		
				自己評価	進捗状況	自己評価	成果と課題(評価結果の分析)	改善方策等
学習指導	観点別評価の推進	観点別評価の推進に向けて、単元ごとや授業ごとの評価方法を研究し、考査に反映させる。	昨年度と比較して観点別評価をした機会が増えたと答えた職員が7割を超えればA、7割～5割ならB、5割～2割ならC、2割未満ならDとする。					
進路指導	進路目標の明確化と自主的・機動的な志の育成	授業への取り組みに加えて、講習内容を検討し、進路指導部主催の進路講習・夏期講習等への自主的、積極的な参加を促す。	各講習において、参加申込をした生徒の出席率が80%以上ならA、60%以上ならB、40%以上ならC、40%未満ならDとする。					
		3年間で身に付けさせる力を再確認し、各学年のそれぞれの段階で、将来を見据えて自ら努力目標を設定し、最後までやり抜いていく力を培う。	生徒実態調査において、自己の目標に対してよく努力できたと回答した生徒の割合が80%以上ならA、60%以上ならB、40%以上ならC、40%未満ならDとする。					
生徒指導	規範意識、公共心の向上	学校生活のあらゆる場面で積極的な挨拶の励行を促す。	2学期末の生徒実態調査の中での挨拶に関する項目を集計し、本校生が先生や来校者に積極的に挨拶をしていると思う生徒が80%以上ならA、70%以上ならB、60%以上ならC、60%未満ならDとする。					
特別活動	学校行事・部活動を通じた、豊かな人間性と人格の涵養。	学校行事、HR活動、部活動に積極的に取り組み、目標に向かい努力することの意味と喜びを知る。	生徒実態調査により、学校行事やHR活動、部活動を自主的・自発的にすすんで実践し、達成感を得る事ができたと回答した生徒が80%以上A、60%以上B、45%以上C、45%未満ならDとする。					

評価項目	具体的目標 (評価小目標)	具体的方策	評価指標	中間期(9月)		年度末(3月)		
				自己評価	進捗状況	自己評価	成果と課題(評価結果の分析)	改善方策等
人権教育	お互いを尊重する確かな人権感覚の育成を目指す人権ホームルームの充実。	自他の人権の擁護と尊重のために必要な資質や能力の育成を期し、生徒が人権に関する知的理解を深め、人権感覚の涵養に努められるような人権学習の実施。	各学年最終のアンケートで、生徒が積極的に、または関心を持って取り組んだとする回答が80%以上の学年が、全学年ならA、2つの学年ならB、1つの学年のみではC、どの学年も達しなかった場合はD。					
教育相談	教育相談に関する知識やスキルの共有。	教職員対象の研修(ストレスマネジメント・ケース会議・事例検討等)を企画する。	教員アンケートの結果、「職員研修が有効であった」と答えた教員の割合が60%以上ならA、40%以上ならB、30%以上ならC、30%未満ならDとする。					
保健体育	生涯を通じて健康な生活が実践できる力の育成	「保健だより」を活用しながら、怪我・疾病予防など、健康への関心を高める。	生徒実態調査において、「保健だより」を読んで、『怪我・疾病予防などに生かされた』が、60%以上ならA、40%以上ならB、20%以上ならC、20%未満ならDとする。					
	たくましい体力の育成、活動の充実	体育に関する行事「新体カテスト・体育大会」等を実施し体力の向上および活動の充実を目指す	生徒実態調査において「新体カテストや体育大会など体育行事を通して、自己の体力向上に努めている」が75%以上ならA、60%以上ならB、50%以上ならC、50%未満ならDとする。					
文化図書	豊かな人間性の育成を目指した読書活動の推進	読書HR、ビブリオバトル、図書だより『共慶』、ポスター掲示などを通して、読書活動への意欲を高める。	読書HR後のアンケート及び生徒実態調査において、いろいろな読書啓発活動から、「読みたい本が見つけられた」「興味を持った本が見つけられた」と答えた生徒の割合が75%以上ならA、65%以上ならB、55%以上ならC、55%未満ならDとする。					
環境整備	生徒の自主的な活動による学校美化の向上	美化委員により、「すすんで清掃・整理整頓」を生徒全員に呼びかけ推進するとともに、各ホームルームや共同利用する場所の清掃状況を定期的に点検し、問題がある場所の清掃を強化し改善する。	生徒実態調査において、「清掃当番のとき、清掃活動にすすんで取り組んでいる」と答えた生徒の割合が、50%以上ならA、30%以上ならB、20%以上ならC、20%未満はDとする。					
広報・情報	ホームページ、育友会関連連絡メール、学校案内、広報誌等、情報発信の充実	ホームページ、メールシステムを活用し、保護者への行事の周知徹底を図り、育友会行事の参加者の増加と満足度を高める。	利用者、参加者に満足度アンケートを行い、「よかった」と答えた保護者の割合が60%以上ならA、50%以上ならB、40%以上ならC、40%未満はDとする。(事後アンケート)					
事務・管理	理化館建て替え工事を円滑に進める	教育活動への影響をできるだけ少なくし、また工事が円滑に進捗するよう、関係機関と調整を行う。	工事が工期どおりに、問題なく円滑に支障なく進捗することを100%とする。					